

釈迦内PAを活用した観光利用促進に関する社会実験（秋田県大館市）

1. 実験実施の背景

- ・高速無料区間の上下線集約型PA(国道及び高速双方で利用可、Uターン可能)が整備済
- ・歴史的建造物、忠犬ハチ公、比内鶏など観光資源が豊富であるが、観光客は年々減少傾向
- ・観光地が市内に点在、周遊交通機関がないため観光施設相互の周遊が進まない

2. 検証項目

- ① 観光周遊バスの事業可能性
- ② 観光周遊バスの定時性確保(渋滞箇所の抽出)
- ③ 観光周遊バスの満足度・需要把握
- ④ 釈迦内PA利活用の効果
- ⑤ 釈迦内PA物販イベントの満足度

3. 実験内容

【実験地域】 鷹巣大館道路

【実験内容】

- ①観光周遊バス運行
 - ・「釈迦内PA」を発着する市内観光周遊バスを運行
- ②釈迦内PA利活用
 - ・釈迦PAマート(物販イベント)の実施
- ③広報戦略
 - ・「道の駅」、「高速PA」にポスター、チラシ配布
 - ・「SNS」の活用

【実施期間】 平成29年10月26日(木)～平成30年3月30日(金)



図-1 位置図



図-2 釈迦内PA



図-3 観光周遊バス



図-4 釈迦PAマート

4. 検証結果

- ① 観光周遊バスの事業可能性
 - ・【収益性】収支バランスが悪く赤字経営、**事業性が低い**
 - ・【運営体制】事業運営に専従可能な体制・組織づくりが必要
- ② 観光周遊バスの定時性確保（渋滞箇所の抽出）
 - ・【ツアーバス】**最大9分遅れ**。観光施設での滞在時間が影響
 - ・【周遊バス定時性】**最大17分早着**、運行車両の位置情報から渋滞箇所を抽出
- ③ 観光周遊バスの満足度・需要把握
 - ・【観光周遊バスの利用需要】観光資源・魅力を踏まえた商品開発の検討が必要
 - ・【運賃設定の満足度評価】ツアーバスの**運賃設定に対する満足度が高い**
 - ・【運行ルートへの満足度評価】**運行ルートに対する評価は高い**
- ④ 釈迦内PA利活用の効果
 - ・出店者及び観光施設管理者アンケート調査結果を持って整理（整理中）
- ⑤ 釈迦内PA物販イベントの満足度
 - ・【釈迦PAマートの認知度】認知度は18.2%、たまたま立ち寄った利用者が多い
 - ・【収益性の確保】500～1000円/人の消費行動、釈迦内PAの維持管理費をカバー可能

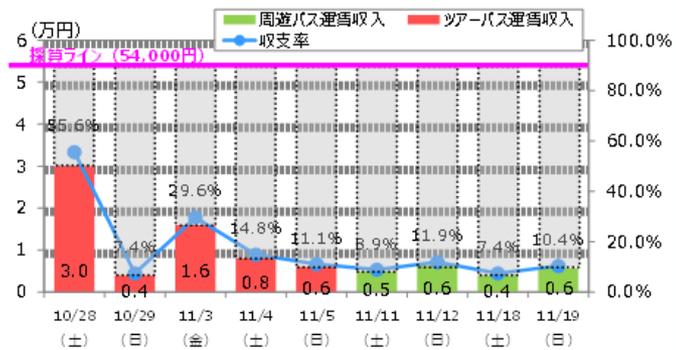


図-5 社会実験観光周遊バスの収支実績



図-9 釈迦内PAの維持費

▼ツアーバス満足度 ▼周遊バス満足度

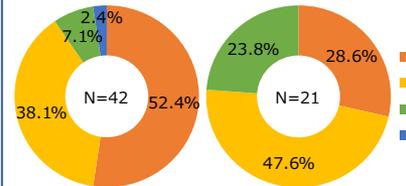


図-6 運賃設定の満足度

▼ツアーバス満足度 ▼周遊バス満足度

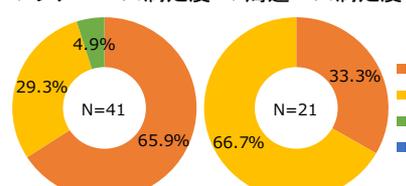


図-7 運行ルートの満足度

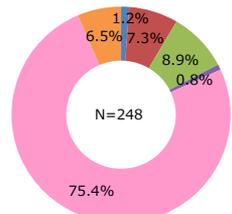


図-8 イベントを知ったきっかけ

5. 実験後の展開、明らかになった課題等

- ① 観光周遊バス運行
 - ・利用者が少なく、事業性が低い状況
 - ・既存公共交通を活用した継続可能性を検討
- ② 釈迦内PA利活用
 - ・地場産品、地元グルメが少ない
 - ・住民主体による運営・事業実施ができる仕組みを構築できるよう継続検討
- ③ 広報戦略
 - ・低い認知度
 - ・広報戦略の立て直しが必要